

各位

会 社 名 株式会社ヒューマンテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 家崎 晃一
(コード:5621 東証グロース市場)
問合せ先 経営管理室 IR担当 北山 翔吾
(ir@h-t.co.jp)

2025年3月期第2四半期決算において関心が高い質問への回答

こちらは、2025年3月期 第2四半期決算発表後にいただいたご質問をもとに、高い関心が寄せられているご質問への回答をまとめたものであり、本日開催した機関投資家向け決算説明会内での質疑応答内容も含めております。ご理解いただきやすいよう、実際の質問から一部加筆・修正を行っております。

<上方修正／電子契約システムについて>

Q1: 今期は減価償却費や外注費が発生しない分で業績が上振れているが、来期はこれらの費用が発生するため、減益になるという理解でよいのか？

A: 電子契約サービスに関する収益と費用については、ご指摘の通りです。ただし、当社の基幹収益は勤怠管理サービスであり、全体としては電子契約サービスの影響を吸収可能と考えています。

Q2: 電子契約システムのリリースが遅延している理由、リリース予定時期、償却期間は？

A: ・リリース遅延の理由は、仕様面の変更や開発工程の遅延となります。リリース時期は今期第4四半期のリリースを目指しており、償却期間は3年を予定しています。

<下期に実施予定の投資的項目について>

Q3: 下期の利益が上期よりも少なくなる理由として、下期に戦略的な投資を進められているとのことだが内訳としてはどのような項目を考えているのか？

A: 主な投資項目として、外注費(システム開発の前倒し)やセキュリティ強化(ゼロトラスト対応の前倒し)が挙げられます。また、販促費や新規採用、決算賞与等を順次実施していく予定です。

<課金体系変更について>

Q4: 課金方法変更の進捗について、「従来、2025年度下期以降で2割程度増加するとしていた課金ID数については見直し中」とあるが、具体的に何を見直しているのか？

A: 課金方法の変更について、全体の方針に変更はございません。ただし、変更による課金ID数の増加幅については、ユーザーの反応を十分に把握しきれていない状況もあり、具体的な推定値を見直している段階です。そのため、「見直し中」という表現を用いております。

Q5:課金方法の変更について、登録従業員に課金ということで休職者も対象に加わるということは理解できたが、短期アルバイトはどのように影響するのか教えてほしい。

A:ユーザーのアカウント管理方針に依存しますが、例えば、年の内3カ月間のアルバイトのケースにおいて、その都度登録を登録/削除するケースと手間を考慮して年間を通じて登録するケースなど対応が分かれることを想定しております。

<季節要因について>

Q6:売上、営業利益に季節性はあるか？

A:当社の売上は約20%成長を継続してきています。ただ、年度の節目となる4月に若干集中する傾向はあります。一方で営業利益に関しては、その開発状況やスポット的な販促費などの影響で季節性はございません。

Q7:KING OF TIMEの課金IDの純増について、今期においては、1Qは季節要因による増加傾向に加え、特定業種の規制による追い風も影響したと思うが、2Q以降についてはどうみているか？

A:四半期ごとの変動について、季節要因以外の変動はありません。2Q以降においても特定業種からの引き合いが増加しているとの分析結果があるため、特定業種からの需要は続くものと考えています。

<経営戦略について>

Q8:1ユーザー300円と低価格だと感じるが、今後値上げの予定はあるか。開始以来1ユーザー300円を値上していないとのことだが、インフレが進む昨今でも競争環境上難しいのか。

A:値上げについては現段階では考えておらず、当社の戦略の優先順位としてシェア獲得に重点をおいているため、低価格を維持しております。

Q9:事業拡大におけるM&A戦略はありますか？

A:現時点では考えておりません。

Q10:2026年3月期について、先行投資が一巡し収益拡大が見込まれているとあるが、この計画に変更はないか？

A:現段階では計画に変更はありません。

以上